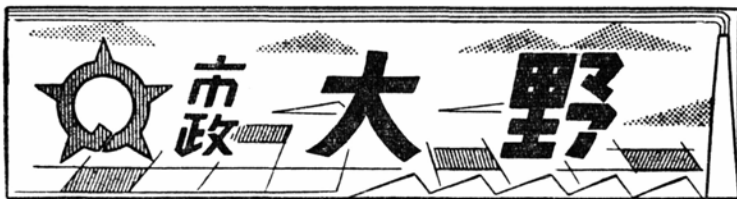


発行  
福井県大野市役所  
(総務課広報係)  
電話(代)6-9600  
夜間 6-9601  
印刷 松浦印刷所



6月の人口の動き

出生	男 39	女 20	計 59
死亡	男 12	女 10	計 22
転入	男 111	女 122	計 233
転出	男 182	女 154	計 336
世帯数	9,482		
人口	44,841		
男	21,659	女	23,282

## 駅東に市民会館を建設

市制10周年を記念して、ことしから3カ年で市民会館を建設する計画が進められています。具体的な施設内容は目下検討中ですが、予定している建設規模はつきのとおりです

- ① 総工費 1億3千万円
- ② 着工と完成 59年11月着工  
41年5月完成
- ③ 建設予定地

駅東土地区画整理内の国道金沢岐阜線沿いの清滝公園(7,200㎡)北側の

市有地。敷地面積 4千800㎡

④ 施設内容

イ、ホール 鉄筋3階建て延べ1千815㎡(550坪)。舞台、楽屋付。収容人員1千人(固定席800人、補助席200人)  
ロ、管理所 鉄筋2階建て延べ990㎡(360坪)

おもな内容 結婚式場、披露宴室、控室、小中会議室、図書室と閲覧室、料理教室、労働教室などで各室に暖房と空調が取り付けられます。

未成年者、老年者、寡婦の非課税の範囲が18万円から20万円に引き上げられました。(ロ)白色専従者控除額が700円から1千円に引き上げられました。(ハ)たばこ消費税の税率が100分の19.4から100分の15に引き上げられました(ニ)電気ガス税の税率が100分の8から100分の7に引き下げられました。

△消防団員退職報償金支給条例の制定

これは消防組織法の改正によつて非常勤の消防団員に対し、階級、勤続年数に応じて退職報償金が支給されることになったものです。支給額の範囲は3万~7万円までです。

△字区域の変更について諮問

これは木ノ本原土地区画整理事業の施行にともなつて、同区域内の旧字名を変更することについて県知事から諮問があつたものです。

△転貸し資金の借り入れ 3千万円

これは水没する和泉村移住者の用地として塚原の未墾地を取得する資金として、電源開発会社から3千万円を借り入れ塚原土地改良区へ転貸しすることになりました。

△市民会館建設特別委員会設置

市民会館を建設する場合の調査機関として設けられ、委員に中村奥衛議員ほか14議員が選ばれました。

## 食肉処理場の設置条例など可決

### 6月定例市議会

6月定例市議会は6月15日から4日間開かれ、39年度一般会計補正予算、大野市食肉処理場設置条例など14議案と字区域の変更についての諮問3件請願陳情16件について慎重に審議され、いずれも原案通り可決採択されました。おもなものは次のとおりです。

△39年度一般会計補正予算

補正総額5千821万3千円  
総務管理費643万4千円  
これは県民会館建設負担金470万円、住居表示に必要な経費109万円、公明選挙推進費70万4千円です。

衛生費577万円。これはほとんど建設される食肉処理場への繰り出し金500万円、ごみ収集車購入費77万円です。

農林費3千286万9千円。これは電源開発によつて水没移住者の用地確保に必要な資金貸し付け金3千169万2千円地籍調査費85万9千円などです。

土木費497万2千円。これは市道の改良費260万円、上若生子橋の改良費150万円、都市計画費87万円です。

教育費733万6千円。おもなものは下

庄水泳プールの建設費642万円です。

△大野市食肉処理場条例の制定

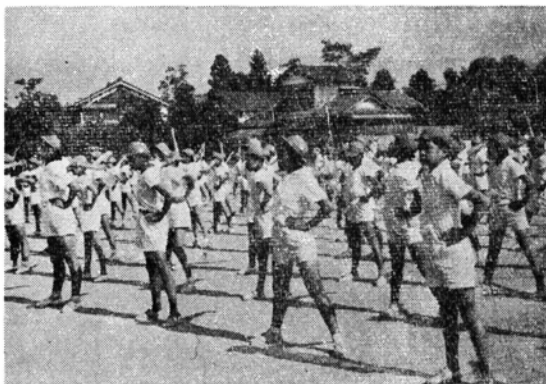
これまでのと(屠)畜場(犬山)が老朽し衛生施設が不備なため、市営の食肉処理場を横杖地係(赤根橋東側の赤根川と真名川の交差点付近)に建設することになりました。

△特別会計食肉処理場予算

こんど建設される食肉処理場の建設費や維持費は特別会計で行なわれます。予算総額2千万円、これは処理場の建設費1千959万円、管理費41万円です

△市税賦課徴収条例の一部改正

こんど改正された点は(イ)不具者、



## 盛大だった体操祭

第5回日本体操祭大野市大会が6月6日午後、有終南小学校校庭に各校児童

・生徒ら約1千600名が参加して盛大に行なわれました。

この日は、参加者全員が有終西小学校校庭から、バトンゲーム、鼓笛隊を先頭に市中行進し、ラジオ体操、園児の遊戯リズム運動、徒手体操、職場体操などたくさん演技を展開

し、最後に全員が東京五輪音頭を踊つて体操祭を終えました。

# 新しい農業委員が決まる

6月30日で任期が満了する農業委員の改選が6月19日に行なわれました。市の農業委員は、農民の直接選挙による委員が20名、農協の推薦による委員9名、市議会の推薦による委員3名の計32名で構成されます。新委員は次の方々です。

### △直接選挙による委員

#### 第1選挙区

田中新一郎(寺上) 吉川 忠(尾永見)  
飯田治一郎(上丁) 長谷川新兵衛(中荒井)

土田 正(庄林) 林 保信(堂本)

#### 第2選挙区

中出 甫(木ノ本領家)  
田中吉右エ門(飯降) 亀井光三(友兼)  
伊東 進(下郷) 森谷 弥市(上掘)

佐々木由左エ門(阿難祖領家)

合掌 郁雄(佐開)

#### 第3選挙区

松林 太(下麻生島)  
稲津忠右エ門(六呂師)  
桜田 隆栄(金山) 広瀬重孝(西勝原)  
木下 正一(松丸) 田中 生(土打)  
松田 武夫(新河原)

△市議会推薦による3名

辻西左エ門(中津川) 斎藤幸(北御門)  
宮村 光男(蕨生)

△農協推せんによる9名

松山賢一(篠座中) 滝波与六(上中野)  
片岡彦九郎(中丁) 伊東敬一郎(猪島)  
土屋静(阿難祖領家) 林 二見(田野)  
飯岡彦兵衛(茨ヶ野) 幅岸吉武(上打波) 永見守一(春日2)

# スギノハダニの防除は7月に

森林の害虫で最も恐ろしいスギノハダニは、梅雨前後に多く繁殖しますので、この期間に防除してください。このダニは、針葉の養液を吸収し葉の色は淡黄褐色に変色して、しだいに枝葉が枯れ、木の成長を止めます。被害を最も受けやすいのは苗木から10年生位の幼令木です。とくにご注意ください

- △防除方法としては
- ①ネオサンピランまたはテデオンなどを7～10日おきに数回連続して噴霧機でかける。(1回では根絶しない)
  - ②DN粉剤を動力散粉機で散粉
  - ③ジェットアカールくん煙剤1ha当たり1Kg入3～4筒を発煙する。
- 皆さんの森林で病気が発生したり、防除に不安の方は市林務課または大野林業事務所にご連絡ください。

# 準防火地域に指定

## 市内の商業地域

市は市街地で家屋が密集している商業地域(都市計画による)を火災から守り、商業地域の発展を促進しようと準防火地域の指定を受け、4月20日から適用されています。

この指定によつて、今後地域内で、建物を新築したり、増改築または大規模な模様替えをする場合は延焼を最少限にくいとめるため、次のように規制されます。

### <規制を受ける建物>

- ① 建物が4階以上、または延べ面積が1千500㎡以上の場合、耐火建築で建坪が敷地面積の8割以内でなければなりません。
- ② 建物が3階建て、または延べ面積

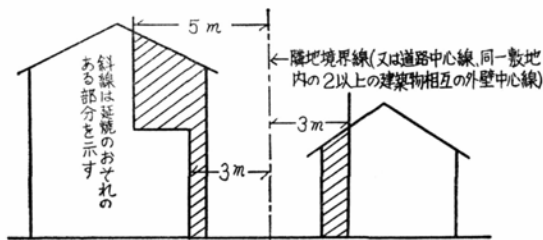
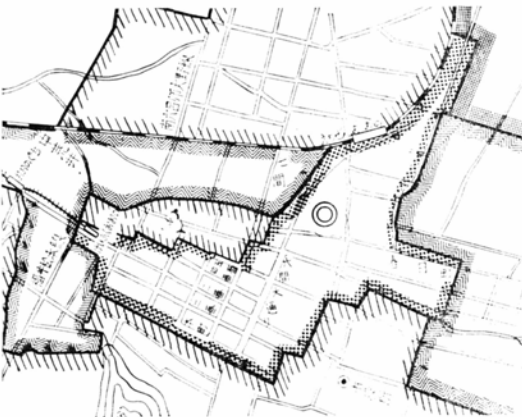
が500～1千500㎡の場合は、耐火建築か簡易耐火建築で、耐火建築の場合は建坪が敷地面積の8割以内、簡易耐火建築の場合は建坪が敷地面積の7割以内でなければなりません。

③ 2階建てや平屋建ての場合は、図のように建物と建物が接直して、延焼のおそれのある部分は防火構造にしなければなりません。

(注) △耐火建築とは鉄筋コンクリート造りや、ブロック造りなど

△簡易耐火建築とは、外壁が鉄筋コンクリートかブロック造りで、屋根を不燃材で造つた建物、または柱、ハリ、床、壁、屋根をすべて不燃材で造つた建物

△左図の◎印の地域が準防火地域に指定されました。



# 下丁など4カ所に工場適地の認定

市が今後工場誘致をする場合の候補地として、下丁、中保、南春日野、中掘の4カ所を選定し通産省へ工場適地の申請をしていましたが5月21日認定されました。

これは大野市が97年9月15日に低開発地域工業開発地区に指定されたので、これに基づいて工場用地、用水、労働力、動力資源などを調査し、工場誘致に必要な条件の備わつた場所としてこの4カ所を選定し、申請していただいたものです。工場適地名と面積は次のとおりです。

下丁団地	108,527㎡(約11ha)
中保団地	80,991㎡(約8ha)
南春日野団地	76,418㎡(約8ha)
中掘団地	94,604㎡(約9ha)



## 有中に時計台完成

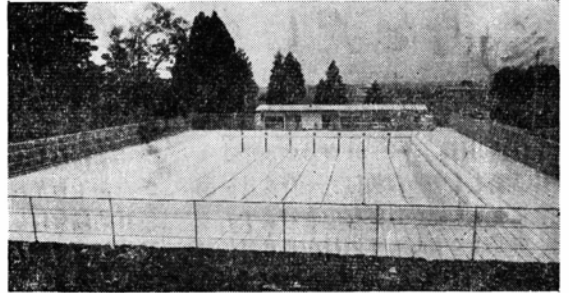
有終中学校の生徒出入り口の道路脇に、このほど高さ2mの時計台が造られました。

この時計台は神明の三浦宗一郎氏の寄付によって建てられたもので工費は14万円。台石に六呂師石をつかい、直径50cmのリモートコントロール付きの電蓄時計が取り付けられています。

## 上庄水泳プール完成

昨年末から総工費610万5千円で建設を急いでいた上庄水泳プールが、このほど上庄中学校横に完成し、6月30日から使用しています。

同プールは25mの短水路7コースで深さが1.2m~1.4mですが、小さい児



童用に0.9m~1.1mに深さを自由に換えられるのが特長です。

水は栗田式循環装置によって、川の水を浄化滅菌して使用します。更衣室は男女別々に設けられ、シャワーや眼洗い、足洗い場が外に設けられています。

## 農薬の空中散布日割

ことしも7月16日から6日間ヘリコプターによる農薬散布を実施します。この空中散布面積は五箇、阪谷地区を除いた2千500haとなつています。

穂首イモチ病防除のため、農薬はクミスイ90%粉剤を10a当り2.5kg散布します。この程度の散布量では、人畜には一応被害がないと思われませんが、危険防止上、次のことをとくに注意してください。

△農薬が直接身体や家畜にかからないよう。

△川水を飲んだり泳いだりしないよう  
△農薬のかかった牧草、野菜は、散布後1週間ほど使用しないよう。

なお散布日程はつぎのとおりです。散布時間はいずれも午前5時から9時までの予定で、雨天の場合は順延です。

7月16日 西山、吉

17日 富島、下掘、上舌、太田

18日 森目、上掘、千歳、中津川  
19日 麻生島、東山、五条方、横枕  
20日 上野、木ノ本、中狭、下丁  
21日 田野、新庄、中野、牛ヶ原

## 商業調査についてお願い

7月1日現在で7回目の商業統計調査が行なわれます。この調査は卸・小売業、飯食店等の商店の分布状況、商業活動などを調査するもので、その結果は商業政策の基本的資料として利用されます。近日中に調査員が皆様のお店へうかがつて調査票の記入をお願いすることになっておりますのでご協力くださるようお願いいたします。

なお、提出された調査票は統計以外たとえば徴税その他皆様方の不利益になることに使用することは法律で禁じられていますので、ありのままを報告してください。

## 被災地にお見舞いを

6月16日の新潟地震で被害を受けた新潟、山形地方の方々に対する見舞い金や見舞い品の受け付けを市福祉事務所まで7月29日まで行います。

皆さまから寄せられたお金や品物は7月19日と29日に県へ輸送し、県から現地の人たちに贈ることになっております。なお、これまでに次の方が義援金品をお寄せくださいました(敬称略)

△義援金の部 小山青年団一同、神明高田育江、大和広瀬巧、清水上池田明子、寺下明照婦人会、春日一区老社会一同、水落二区福垣久、市福祉事務所職員一同、寺上区一同、春日二区加藤末吉、四番上第二班、大野仏教連合会大和区一同、友江区一同、大野和光園清水上佐々木某、下舌下二区一同、中狭区一同、日の出区一同、春日五の二区一同、某氏3名

△義援品(衣類)の部 下中野石丸庚円三番下銀座子供会、大和広瀬巧、尚徳中長谷川富美子、福田律子、春日一折戸清子外、亀山下森島重治、大野和光園、春日一松田機業、有中善意銀行、東中津川中川澄子

## 黒板を備え付けよう

大野市新生活推進協議会では、このほど会議を開き、私たちの生活の中で時間のむだの多いことについて話し合いました。

たつた一人のために、多くの人が随分むだな時間を過ごさなければならぬことや、約束の時間を守らなくては随分相手に迷惑をかけることなど、一人一人が時間を大切にすることが生活を豊かにするために大切なことであるなど話し合われ、このために次のようなことを実行することになりました。

△全戸に家庭用黒板を備え付けよう。

黒板を備え付けて、その時間や場所を書いておき、時間を守るように心掛けましょう。どんな小さな事でもちよつと黒板に書いておくと便利です。みんなの家庭に黒板を備え付けて合理的な暮らしをつくりあげましょう。

△黒板のあつせんをいたします。

黒板の欲しい方は各公民館に申し込んでください。値段は次のとおりです  
A 五〇〇円 B 四〇〇円  
大きさはA、Bとも縦四五種、横六一種

## 16ミリ映写機技術認定講習

とき 七月二十八、二十九日

ところ 大野市役所

申し込み 大野市教育委員会

申し込み締め切り 七月二十三日

受講料 二〇〇円、申し込みと同時

に納入する

くわしいことは教育委員会社会教育課へお問い合わせください。

# 街を美しくする運動旬間

## 7月30日～8月15日

7月30日はみんなが自分の生活する社会をよくするために、一日奉仕活動をしようという日になっています。市ではことしもこの日から8月15日までを、「街を美しくする運動旬間」としてみんな心を合わせて美化運動をす

ることになりました。なかでも7月30日は市民全部が社会奉仕活動を行なっていくようにしたいと思えますから、みなさんの協力をお願いします。

## 少年球技大会

8月9日 有中、有西、有南校庭

ことしは少年野球大会を球技大会と改めました。野球とソフトボールを一しよにやろうということです。実施要項は次のとおりです。

- ①参加資格  
各種別とも各地区で予選大会を行ない、その優勝チームとする。ただし大野地区は優勝および次勝チームとする。
- ②チームの編成  
△野球  
イ、中学生男子とし、各学年常時3名とする。  
ロ、投手は必ず1年生とする。  
△ソフトボール  
イ、中学生は女子とし、常時6名とする。  
ロ、小学生は男子とし、常時3名とする。
- ③服装  
イ、なるべく簡素で運動のできる服装であること。  
ロ、スパイクの使用はできない。
- ④申し込み  
8月5日までに市教委社会教育課あて
- ⑤監督、主将会議

8月6日 市役所厚生室。  
なお試合規定その他詳しいことは社会教育課へお問い合わせください。

## レントゲン撮影日程

7月 4日	9.00～11.00	菖蒲池道場前
7月 6日	9.30～11.90	深井神社前
"	12.30～15.90	小山公民館前
7月 7日	9.30～11.00	阿難祖分校前
"	12.30～13.90	下黒谷 (千藤久太郎宅前)
"	14.00～15.90	母子寮前
7月 8日	9.30～11.00	榎集会場前
"	12.30～15.90	木本分校前
7月 9日	9.30～11.00	吉神社前
"	12.00～13.00	医王寺倉庫前
"	13.30～15.90	友兼専福寺前
7月10日	9.30～11.00	中掘 (板橋充宅前)
"	12.30～15.90	上庄公民館前
7月11日	9.30～11.00	庄林分校前
7月13日	9.30～11.00	西山 (笹島弘藏宅前)
"	11.00～12.90	平沢公民館前
"	13.30～15.90	五条方分校前
7月17日	9.30～11.00	井口 (済谷川定一宅前)
"	12.30～15.90	中休 (中村為宅前)

## 県が更生施設を建設

県では、重度のし体不自由者が、自力によつて日常生活ができるよう、治療や機能訓練を行なう更生援護施設を足羽郡美山村一乗谷につくる計画を進めています。

この施設は12月末に完成の予定で、収容人員は50名、入所期間は5年以内で、該当者は障害程度表による一級の者となつています。

入所ご希望の方は市福祉事務所へお申し込みください。

7月18日 9.30～11.90 富田葉たばこ耕作組合前  
○都合により他の会場で受診されても結構です。

## 乳幼児・3才児の健康診断

7月 6日	1.00～3.00	乾側校
7日	"	南校
8日	"	下庄公民館
10日	9.30～10時	五箇公民館
"	10.30～11時	下打波校
"	1.00～2.00	打波診療所
13日	1.00～3.00	上庄校
14日	"	下庄公民館(3才児のみ)
16日	"	上庄校 (3才児のみ)
20日	"	西校
22日	"	西校
27日	"	西校 (3才児のみ)
29日	"	南校 (3才児のみ)

○対象年齢  
乳幼児は37年7月1日～39年3月31日までの出生者  
3才児は36年4月1日～37年3月31日までの出生者

の話を。七月二日は半夏生はんげ(半夏)という薬草がはえるころ。また、げし(夏至)から十一日め。昔は六月一ぱいで田植えも終り、長い労働からほつとひと息入れるところだった。▼昔から大野地方では、半夏生サバ、といつてざいご(在郷)の人たちは町へ出てサバを焼く。魚屋では二三日も前からサバを焼いている。どこの農家でも一人一匹あてで買うのだから相当のサバになる。浜との契約や仕入れ先、それに得意先と、いわゆるサバ目を読むのに忙しいというものだ。▼半夏生とサバの歴史は遠く土井藩政から始まった。丹生郡四箇浦地方に約四千五百石の大野藩の領土が与えられたので、封建制下の交易の不利をヨソ目に、ここからサバのルートは開かれた。藩主はサバをよくとれるこの季節と農事暦を重ねて、せめてこの日くらいは山国に珍らしいサバを、との心尽くしだつたと伝えられる。▼ごく最近まで続いたサバ焼く煙もだんだんこのごろでは薄れてゆくと共に、うら悲しい農民史も生まれ変わりつつある。▼「サバ売り」と赤土山を越えにけり」は詩人三好達治氏が戦時戦後の疎開先、三國での作だが、この春なくなつた老詩人を思うにつけこの句が鮮かに思い出される。大野高校校歌の作詞者としても縁が深い。市政も十周年を迎えた。誕生は七月一日。▼半夏生とサバと詩人と市政



▼七月二日は半夏生はんげ(半夏)という薬草がはえるころ。また、げし(夏至)から十一日め。昔は六月一ぱいで田植えも終り、長い労働からほつとひと息入れるところだった。▼昔から大野地方では、半夏生サバ、といつてざいご(在郷)の人たちは町へ出てサバを焼く。魚屋では二三日も前からサバを焼いている。どこの農家でも一人一匹あてで買うのだから相当のサバになる。浜との契約や仕入れ先、それに得意先と、いわゆるサバ目を読むのに忙しいというものだ。▼半夏生とサバの歴史は遠く土井藩政から始まった。丹生郡四箇浦地方に約四千五百石の大野藩の領土が与えられたので、封建制下の交易の不利をヨソ目に、ここからサバのルートは開かれた。藩主はサバをよくとれるこの季節と農事暦を重ねて、せめてこの日くらいは山国に珍らしいサバを、との心尽くしだつたと伝えられる。▼ごく最近まで続いたサバ焼く煙もだんだんこのごろでは薄れてゆくと共に、うら悲しい農民史も生まれ変わりつつある。▼「サバ売り」と赤土山を越えにけり」は詩人三好達治氏が戦時戦後の疎開先、三國での作だが、この春なくなつた老詩人を思うにつけこの句が鮮かに思い出される。大野高校校歌の作詞者としても縁が深い。市政も十周年を迎えた。誕生は七月一日。▼半夏生とサバと詩人と市政